

男女共同参画情報誌
の創刊号発刊にあ
たり、市長に
インタビュ
ーしま
した。

市長、男女共同参画を語る

Q

鹿児島は「男尊女卑」のお国柄だといわれますが、川内市の現状について、市長としてどのように考えられますか

鹿児島は「薩摩の国」の時代の流れ、つまり武士・武家社会からの封建制が底辺に流れ、家庭や社会を築いてきたと思います。戦後、女性の地位も様々な機会を経て向上してはいますが、まだまだ「女性は、家庭を守って、子育てをして」という考え方の方が、昨年市民を対象に実施した意識調査の結果をみても多いようです。地域の集会などでも男性優位の雰囲気が感じられることがありますね。

Q

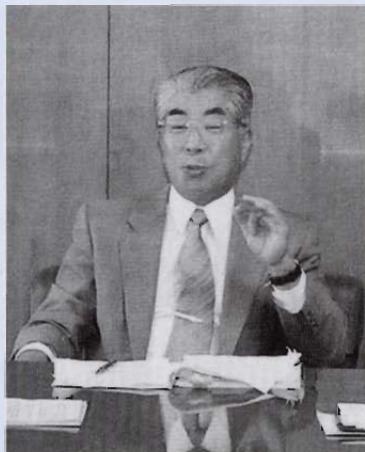
市長が、選挙公約の一つに「男女共同参画社会の実現」を掲げた理由をお聞かせください

平成8年に市長に就任してから、自分が策定するとともに、部課長に対する研修会なども実施しました。しかし、行政だけの取り組みでは不充分です。男性も女性もお互いに尊重しあつて、本当に尊重する前に、地域の皆さんと話をする機会がありました。そこで、女性が育児や介護などを理由に社会に

Q

県下96市町村のトップを切つて、男女共同参画基本条例を制定されました。その意気込みをお聞かせください

出て行けない現状や、「^{おなこ} 女んもんのでしやばつて」という地域の目があるというご意見を多く耳にしました。世の中、女性の方が半数を越えているわけですから、女性の社会へ参画していく道を行政が開いていかなければと思つたわけです。地域の中に溶け込んで話を聞いたことから、男女共同参画政策はスタートしたと思つています。



Q

市民の意識改革に対する市と

Q

出生率、人口増加率アップのための施策について、市長の

その能力を社会のために貢献できるようならしくづくりをしていくにはどうしたらよいか、それには規範になる条例が必要なのではないかという考え方につづいたわけです。市民のみなさんにあらゆる分野で能力を發揮していただき、川内から情報を発信して、他市町村をグングン引っ張つていこうと思つています。

私は中学校のPTA会長を1年やりましたが、役員はお父さんで、実際の活動はお母さん方まかせという現状でした。他の組織活動や会議の中でもそのような傾向が見られるのではないかと。男女共同参画社会実現のためには、男女ともに意識改革が必要であり、これに関する教育が不可欠だと考えていました。

には受け入れ難い面があると思いますが、趣旨をきちんと説明しあわせ、色々な研修会にも出席していただけるのではないでしょうか。まずは、男女共同参画について知つていただくことから始めなければなりません。そのためにも、皆さん積極的に参加できる企画を立案し、また啓発もしていかなければならないと考えています。

市長に就任する前に、地域の皆さんと話をする機会がありました。そこで、女性が育児や介護などを理由に社会に

市長に就任する前に、地域の皆さんと話をする機会がありました。そこで、女性が育児や介護などを理由に社会に